

2023年度 活動実績報告書

(敬称略)

No.	月	日	曜日	行事	場所	講師	天候	担当 者 (案内作成)	観察 菌 種	参加人数	観 察 報 告
別枠	3	26	日	新入会員学習会 兼下見	宝ヶ池公園	(丸山 先生)	雨	三役	—	新会員4名 在会員10名	土佐運営幹事の指導の下、実地観察を行った。雨天のため、昼食場所での講義形式の学習も取り入れた。オオセミタケ採取体験も2体で実践できた。雨天で観察しにくい場所もあったが、例年のきのこはほぼ出揃っており、花見客が少なく、観察には都合が良かった。
1	4	2	日	観察会 No.1	宝ヶ池公園	丸山先生	晴時々曇	木村	28種	会員19名	早春のきのこオオセミタケ、トガリアミガサタケ、ツバキシンカクチャワシタケが今年も観察できた。子嚢菌は8種で例年より少なかった。1週間晴天が続いており林内の乾燥がきつ、きのこの発生が少なかったが、丸山先生に顕微鏡で胞子を見せて頂くなど、効果的な学習ができた。
2	6	11	日	観察会 No.2	明神が岳周辺	丸山先生	小雨 のち曇	木村	43種	会員18名	雨の効果か、思った以上の種類が観察できたが、大型菌は少なかった。コブリマメザヤタケの分生子柄が観察できたのが印象的だった。観察時間確保のため、バス回転場でミーティングをし、発生場所で講師説明をしてもらった。谷川きのこ園での買い物を終え、今までの様々なご好意とご協力に感謝して当地最後の観察会を終了した。
3	6	24	土	観察会 No.3	若山神社周辺	丸山先生	曇のち晴	西	58種	会員21名	車道脇で新鮮な大ぶりのキノガサタケの出迎えを受けた。奥の竹藪にも数本を確認する。この時期らしいきのこが多く発生していたが、イグチ科が少なかった。立入禁止区域や危険箇所を回避してコースを今までより短縮したが、この時期の天候を考えても今回のコースが良いと思われる。大下会長より採集袋の折り方講習あり。
4	7	23	日	観察会 No.4	龍谷の森	東先生	快晴 (猛暑日)	土佐	72種	会員21名 一般 1名	熱中症対策として従来のコースを変更した。昼食や同定場所は龍谷大学7号館教室を借用した。観察種類は例年並みであったが、降水量不足のため発生個体数は少なかった。しかし、虫害を受けてはいたがウスキノガサタケ4本とリュウコクヒメベニタケが沢山観察出来て幸運だった。虫害等を考慮して観察時間を早める等の工夫が必要か。今年から龍谷の森入山システムが変わり、大学の受入れ教員と入山目的の明確化が必要となった。
5	9	16	土	観察会 No.5 実習行事 ①	有馬富士公園	丸山先生	晴	土肥	61種	会員15名	猛暑と乾燥のため厳しい状況の中、発生種類は例年並みだが、発生数の減少は否めない。大型キノコの減少、発生規模の減少、普通に見られていたキノコの減少などの変化あり。観察ルートに森の中を入れる等の工夫が必要か。久しぶりにカメシタケ2本が見つかったほか、カブラテングタケやホオベニシロアシグチとの出会いが印象的だった。
6	9	23	土 (祝)	観察会 No.6 実習認定行事 ②	大泉緑地公園	丸山先生	晴れ	太田	38種	会員18名 講座生8名	今年も会員観察会でのネームカードを実習生が後追いつる形で実施。キツネノタイマツ、イロガワリシロカラカサタケが沢山見られたが、例年多く見られるナラタケモドキやヤナギマツタケは僅かだった。丸山先生の顕微鏡や絵図を見せて頂きながらの講義に実習生・会員ともに熱心に聞き入っていた。下見時に観察された黄色のスッポンタケは後日ヒメスッポンタケと同定された。
7	10	15	日	観察会 No. 7	室池園地	東先生	晴	田村	66種	会員19名	内回りファミリートレイルコースで余裕をもつての実施とした。ウズハツ、冬虫夏草のキマワリアラゲツトミタケなど、印象的なきのこがあった反面、ナラタケモドキやニガクリタケの群生などには出会えなかった。日曜日であり、駐車場も道路も混雑していたが、森の工作館が改装されており、館内のテーブルで昼食をゆっくり摂ることが出来、同定も同じ場所ですることができた。
8	10	21 22	土 日	合宿	奥大山	東先生	雨のち曇 晴	大下 幸野 松尾	68種 +24種	会員16名 一般 1名	各方面の支援を受けて、充実した宿泊観察会となった。行程も危険な箇所もなく、効率良く観察ができた。初日は奥大山休暇村登山道から車道、宿舎にいたる散策路、二日目は文殊堂駐車場から西側二の沢、三の沢間の山手側ブナ林斜面を観察。二日目は全員がまとまった観察とし、採取はせずカード置き方式での観察としたのが効率的で良かった。帰路は早めの行動により京都解散が17:30となったのが良かった。
9	11	12	日	観察会 No.8 実習行事③	けいはんな 記念公園	丸山先生	曇	福田	62種	会員20名 講座生4名	初めての観察地であり2回の下見を行う。昼食場所、トイレ、雨天時のことなどを考慮して12時から研修室を借りた。園内採取禁止のため、同定会はせず、丸山先生が準備してくださった6台の顕微鏡での観察や、胞子紋の取り方、担子器と子嚢の仕組みなどを手製の模型で教わった。公園側も大変協力的で観察会にはスタッフの参加もあり、今後の利用にも好意的。
10	12	17	日	役員会、学習会②	長岡京市中央生涯 学習センター	斎木先生		三役	—	役員会13名 学習会26名 (内一般1名)	午前中の役員会では総会に向けて2023年度活動実績・決算報告、2024年度活動計画案・予算案、会則の変更等について審議した。特に会費の値上げについては止む無しということで、総会に提案することになった。午後には斎木先生の4回目の講演と大下会長による「大山合宿の報告と菌類研究会の歩み」の発表がおこなわれた。
11	2	18	日	発表会、学習会③ 総会	長岡京市中央生涯 学習センター	斎木先生		三役	—	発表会 28 学習会 31 総会 26+委8	午前中は「私たちの暮らしと放射線」「双ヶ岡観察報告その11」「生駒山のきのこ」「レストラン恵比寿マッシュルーム考」「信州合宿へのいざない」等の6つの発表が行われた。学習会での斎木先生の講演も5回目、6種類の生きのこを見せて頂いたり、「カビときのこの違い」等のお話を聞いた。総会では次年度活動計画、予算(会費値上げも含めて)、役員体制等が承認された。
別枠	5	27	土	自主観察会①	甲山森林公園周辺	—	曇のち晴	橋本	約20種	会員11名	阪急夙川駅→(バス)→北山緑化植物園→北山ダム→神呪寺仁王門→林道→甲山森林公園のコースを橋本さんの案内で観察。担子菌類、子嚢菌類、ヒダのあるもの、菅孔のあるものや地上生のもの、材上生のもの、旧腹菌類、盤菌類や変形菌などいろいろな形態のものを観察できた。じっくり多様なきのこが観察できるので、新入会員の入門コースとして適している。
		10	31	火	自主観察会②	檜原神宮	—	晴れ	松尾	50種	会員8名